



# NIHS特別講演会（殿町#9）

## 演題

### ユビキチンリガーゼを標的とした 嚢胞性線維症の治療薬開発



## 講師

### 沖米田 司 先生

関西学院大学 理工学部 生命医化学科

## 要旨

嚢胞性線維症（Cystic Fibrosis, CF）は白色人種間で頻度が高い致死性の単一遺伝病である。CF は塩素イオンチャネル CFTR の遺伝子変異、特に、 $\Delta F508$  変異により発症し、40歳までに多くの患者が死に至る難病である。近年、CF 治療薬として、CFTR modulator（Orkambi®）が上市されたが、その治療効果は弱く、現在、有効な治療法は確立されていない。

我々は CF 治療薬 CFTR modulator の作用機序を明らかにし、その問題点を提起した。また、表現型スクリーニングにより、CFTR modulator の有効性を減弱させるユビキチンリガーゼを同定した。本講演では、ユビキチンリガーゼを標的とした CF 治療薬開発の最新状況を紹介する。

## ご略歴

1998年 熊本大学薬学部卒業（薬剤師免許）、2003年熊本大学大学院薬学研究科修了（薬学博士）。

2003年 独立行政法人 科学技術振興機構 SORST 研究員（英国ケンブリッジ医学研究所）、2006年 トロント小児病院研究所細胞生物学部門（カナダ）、2008年 マギル大学生理学部（カナダ）にて博士研究員、リサーチアソシエイトを歴任。

2013年 関西学院大学理工学部生命科学科准教授を経て、2019年に関西学院大学理工学部生命医化学科教授。

日本では珍しい CF 創薬研究者で、研究成果は Science 2010, Nat Chem Biol 2013, Dev Cell 2018 等で発表している。

## 日時

2019年6月21日（金）

16:30~18:00 開場16:00

国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部 井上 貴雄  
電話：044-270-6536 メール：takao@nihs.go.jp